

まちづくり戦略

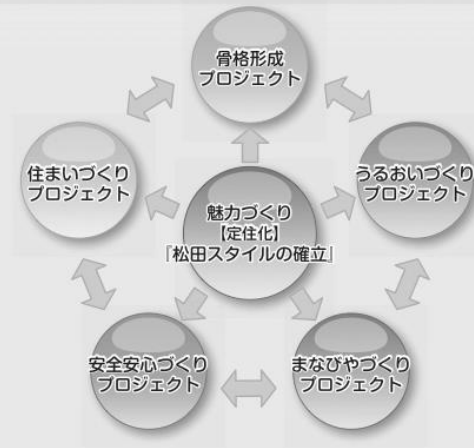
《松田町の魅力》

- 緑と水、ゆたかな自然と豊富な歴史・文化資源

《松田町の特徴》

- 広域の交通拠点、コンパクトな空間とふれあい、自治・自立

※町の特性を未来の豊かな生活とまちづくりや、住み続けるまちに繋げていくための「定住化を促進する5つのプロジェクト」を位置づけ、住みやすさ・生活しやすさを追求し、「松田スタイル」を確立します。



5つのプロジェクトと主な取り組み事業

1. 骨格形成プロジェクト

広域交流の結節点の強化による地域資源などとの交流・ふれあいを活性化し、賑わいのあるまちづくりをめざします。

【主な取り組み事業】

- ◎ 町有地等の利活用の推進
- ◎ 民間住宅の建設促進、良好な住宅宅地開発の誘導
- ◎ 空家等の利活用
 - ・ 良好な住宅地の整備・促進
 - ・ 景観の整備・保全
- ・ 地区計画、まちづくり協定、建築協定の支援
- ・ 町営住宅の建設
- ・ 民間等による町営住宅供給の調査・研究
- ・ 住宅取得促進事業の推進及び新制度の研究・実行・周知

3. うるおいづくりプロジェクト

町の基本的な資源・誇れるものとなっている緑と水を活かし、自然環境・景観を大切に、地域の資源を活かした里づくりをめざします。

【主な取り組み事業】

- ◎ 新松田駅南口駅前広場等の効率的・効果的な整備
- ◎ 新松田駅北口周辺整備のあり方についての検討、調査・計画
- ◎ 「(仮称) 松田町やすらぎ歩行空間整備計画」の策定及び効果的な整備
- ◎ 地域懇話会等の定期的な開催
- ◎ 広報紙・ホームページ等を通じて町民の意見や声を求める場の充実
- ◎ 効率的な仕事の進め方の導入
- ◎ 職員研修計画の実施
- ◎ 収納率の向上と体制の強化
 - ・ 効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の展開
 - ・ 生活排水処理施設整備事業の推進

2. 住まいづくりプロジェクト

住みたい・住み続けたいと思える松田らしい誇れる住まいと環境づくりを計画的に創りだし、小さくても魅力いっぱいのまちづくり・家づくりをめざします。

【主な取り組み事業】

- ◎ 新たな再生可能エネルギーの導入に向けた検討
- ◎ 資源ごみの実情に合わせた分別収集と3R運動の推進

【主な取り組み事業】

- ◎ 自主防災組織の育成・支援
- ◎ 耐震改修促進計画の推進
- ◎ あんしんメール・同報無線・広報・パンフレット等による情報発信
- ◎ 健康教育事業の実施
- ◎ 各種予防接種事業の啓発推進
- ◎ 健康増進計画に基づく健康づくり事業の展開
- ◎ 地域主体の「たすけあい」「ささえあい」の体制づくり
- ◎ 地域包括支援センターの機能強化と高齢者向け相談の充実
- ◎ 地域支援事業の充実
- ◎ 子育て支援センターやファミリー・サポートセンター事業の充実
- ◎ 保育施設の整備・推進
- ◎ 子育て世帯支援事業
- ◎ 高齢者生活支援等サービスの充実と生活支援サポーターの養成
 - ・ 地域防災計画の見直し
 - ・ 地域での高齢者や障害児者の災害時避難等の支援
 - ・ 交通安全施設と交通環境の整備
 - ・ 特定健康診査、高齢者健康診査、保健指導の実施
 - ・ がん検診の実施
 - ・ 新型インフルエンザ対策の啓発促進
 - ・ 小児医療費の助成・支援対象の検討
 - ・ 児童手当の支給
 - ・ 認知症サポーター養成事業
 - ・ 地域を単位とする自主的介護予防活動への支援と介護予防サポーターの養成

5. まなびやづくりプロジェクト

幼保一元化や少子化の動向を踏まえた町内幼稚園、小中学校のあり方を検討して、地域にあった教育体制づくりをめざします。また、地域の歴史や文化、風土の魅力を学び、町への愛着を高めながら、将来の町に貢献できる人づくりのほか、だれもが気軽に学べる環境づくりをめざします。

注：主な取り組み事業においては、平成 23～30 年度までの8年間で取り組むべき事業としてまちづくりアクションプログラムに位置づけた事業になります。また、平成 27～30 年度までの新まちづくりアクションプログラム・まちづくり戦略の取り組みの中で優先的に取り組んでいく事業を重点事業として「◎」で示しています。

- ◎ 体験農場（園）の検討・確保・整備
- ◎ 農産物加工品（特産品）の開発推進
- ◎ 桜まつり等の各種イベントの実施
- ◎ 特産品開発事業
- ◎ 新松田駅前等の基盤整備事業に伴う商店街の活性化についての検討
- ◎ 移動販売業者への経営支援
- ◎ 観光ボランティアの育成・支援
- ◎ 観光資源等の発掘・活用
- ◎ 松田ブランド認定事業
- ◎ テレビ等のメディアやインターネット等を活用した宣伝
- ◎ 県西地域の活性化
- ◎ 国際交流事業の推進
 - ・ 花とみどりいっぱい事業
 - ・ 有害獣被害防護柵の維持・管理・整備
 - ・ 地場産品の販売
 - ・ 広域観光圏による観光振興

4. 安全安心づくりプロジェクト

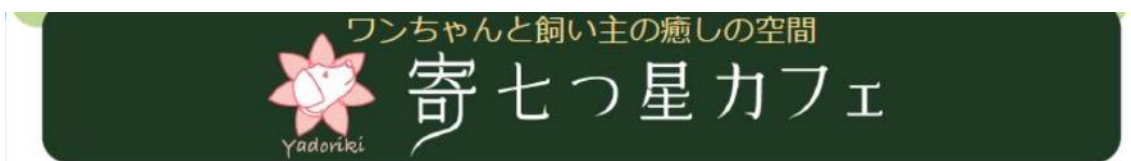
豊かな心と暮らしを営む「松田スタイル」の実現に向けて、安全・安心なまちづくりに加えて、地区に地域でみんなが生き生きと、かたり・つながり・参加から松田の心の醸成と仕組みを持ったまちづくりをめざします。

【主な取り組み事業】

- ◎ 教育のあり方の検討
- ◎ 学校施設整備事業
- ◎ 学校 ICT 環境整備事業
- ◎ 英語教育の充実
- ◎ ボランティア等指導者の発掘、サークル団体等育成・支援
- ◎ 文化活動団体の育成
 - ・ 松田小学校整備事業
 - ・ 幼児・児童・生徒、教員相互間の交流事業の実施
 - ・ 学習支援・介助員配置事業
 - ・ 給食費保護者負担軽減措置補助金
 - ・ 松田の自然・文化を活かした事業の実施
 - ・ 地域コミュニティ活動団体の育成・支援

▼YHV (Yadoriki Healing Village) やどりき ヒーリング ヴィレッジ *H28~30 事業費約 1 億 900 万円

人口減少が顕著な寄地域では、リニューアルしたドッグランやカフェを拠点に、地域活性化を推進しています。有害獣対策を実施するとともに、お茶や蕎麦などの地域資源を商品・ブランド化、農業体験などのソフト事業も併せて展開中です。



▼松田町民文化センターの改修（リノベーション） *H29~30 事業費約 1 億 6,000 万円

昭和 56 年に建設し、老朽化や利用者減等の課題を抱えた町民文化センターは、国の交付金を活用し、スポーツや未病改善等の新たな機能を加えた複合拠点施設へと生まれ変わりました。平成 29 年度は、スポーツクライミング施設のほか、調理室を「未病改善キッチン」に、倉庫を「トレーニングルーム」に、賑わいの空間として「青空広場」を整備し、大ホールの照明・音響設備も最新設備へ更新しました。また、平成 30 年度は、国際交流拠点としての機能を整備予定です。



▲ボルダリングウォール



▲未病キッチン



▲トレーニングルーム

▼女性が輝き活躍するまちづくり *H28~32 事業費約 1 億 7,000 万円

人口減少にストップをかけるためには、若い女性の転出抑制に取り組む必要があります。女性が活躍するための初期環境を、子育てや就労支援という観点で整備し、まちなかに新たな産業や賑わいを創出する事業を展開します。

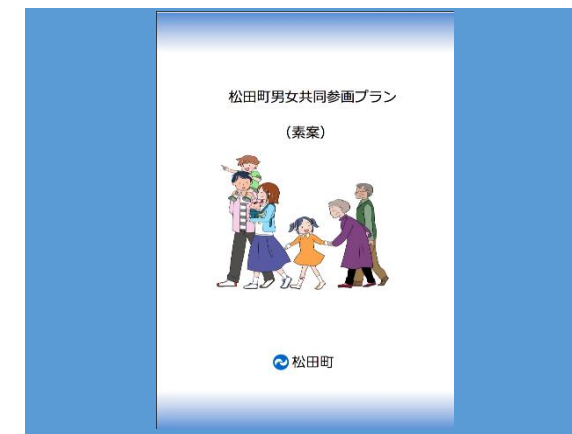
これまで、旧松田土木事務所での手作りイベントの開催や、さまざまな人材が集まる「松女会」の活動などのほか、「男女がお互いに尊重し、性別にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できる社会」を目指し、重点目標や取組について定めた「松田町男女共同参画プラン」「女性活躍総合戦略」を策定しました。



▲旧松田土木事務所でのイベント



▲松女会の活動



▲松田町男女共同参画プラン